

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2003年9月2日

2003年8月31日現在：

温度差が激しい1週間であった。最低気温は39～40度となり、最高気温は100度を記録した。週の終わりになり、北東地区、北中央地区、北西地区を中心に降雨があり、0.29～0.77インチを記録した。好天が続いたことより、小麦の収穫は平年より極めて早いペースで進み、全州で略最終段階となった。8月31日現在全州の91%のHRWが収穫された（昨年：58%、5年平均：73%）。デュラム小麦の収穫も同様に昨年並びに平年より早い収穫となった。土壌水分は更に悪化し、Topsoil及びSubsoil共に、昨年並びに過去5年平均より悪い状態となっている。

8月1日付けのUSDA小麦生産量予想では、HRSの単位収量は7月1日と同じ数値であったが、デュラム小麦の単位収量は7月1日予想より2bu/acre減少した。乳熟期に入ってから的高温・乾燥が影響したと言える。

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	39	40	21	0
Last week (%)	31	45	24	0
Last year (%)	13	27	53	7
Average (%)	10	25	59	6

Subsoil

This week (%)	32	39	29	0
Last week (%)	25	42	32	1
Last year (%)	14	30	51	5
Average (%)	8	23	62	7

Average: 1998～2002年平均

デュラム小麦の進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year avg.
Combined (%)	81	51	25	42

Milk : 乳熟期, Turning=Turning color: 登熟期～枯熟期

HRS小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year avg.
Combined (%)	91	80	58	73

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

次の頁に続く：

8月1日付けUSDA春小麦の生産量予想：

	Harvested Area 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushel		
	2002	2003	2002	2003		2001	2002	2003
				June 1	July 1			
Durum	1,950	1,850	25.0	29.0	27.0	54,600	48,750	49,950
H R S	5,900	6,300	28.0	36.0	36.0	234,600	165,200	226,800

[2003年産小麦品種：http://www.nass.usda.gov/nd/whtvar03.pdf](http://www.nass.usda.gov/nd/whtvar03.pdf) このページに作付け品種の明細が掲載されています。

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail ogawa.max@omicnet.com